



No. 37, 2010.10.15

テザー宇宙ロボットの打ち上げ実験に成功しました

知能機械システム工学科の能見公博准教授らの開発したテザー宇宙ロボットが、2010年8月31日午前5時ちょうどに宇宙航空研究開発機構(JAXA)の観測ロケット S-520-25号により鹿児島県の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられ、地上約300km上空での制御実験に成功しました。つり糸製のテザー(ひも)によって宇宙空間で小型ロボットを制御する実験であり、今回得られた詳細なデータを今後の開発に役立てて行く予定です。同日16時より、記者会見を行いました。(広報室)



記者会見の様子



能見准教授の説明の様子、左は大平学部長

第2回オープンキャンパス2010 予告

香川大学工学部の第2回オープンキャンパス2010では、今年度も体験コーナー、研究室紹介、入試説明会、キャンパスガイドツアーの他、学生主催工学部祭の同時開催を予定しています。皆様のご来場をお待ちしております。(広報室)

日時：平成22年10月30日(土) 10:00~17:00
場所：香川大学工学部キャンパス(高松市林町2217-20)

★特別講演会★

演題：今後の宇宙開発利用を支える宇宙ロボット
講師：小田 光茂 氏
(宇宙航空研究開発機構(JAXA) 研究開発本部未踏技術研究センターロボティクス研究グループ技術領域リーダー)
時間：13:00~14:30
会場：工学部講義棟3階3301講義室
入場無料、参加申込不要



※詳細はホームページをご覧ください。

http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/open_campus/

戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）」に採択されました

香川大学と有限会社電マーク(高松市)が提案する「小規模マイクロブログとクロスインタフェースの研究開発」が、2010年8月10日に総務省「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」の地域 ICT 振興型研究開発プログラムにおいて採択されました。

本研究開発では、twitter に代表される「マイクロブログ」(短い文章で友人知人等に情報を伝達するサービス)の仕組みを、限られた利用者に限定した「小規模マイクロブログ」サービスにして提供できるようにし、「家庭内での情報家電のメッセージング」、「医療、介護などでの情報の共有化」、「災害時の細分化された地域毎の情報提供」などへの応用を目指します。このサービスの開発により、家庭の機器管理を外出先から行える、医療介護の現場や離れた家族との間で情報の共有・流通が促進される、災害時にデマなどを防ぎつつ場所に合わせた避難情報を提供する、等の効果が期待されます。(広報室)

※詳細はこちらのページをご覧ください。

http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/topics/research/scope/

「地域イノベーション創出研究開発事業」に採択されました

平成 22 年度の国の「地域イノベーション創出研究開発事業」において、本学の微細構造デバイス統合研究センターのマイクロマシン技術を活用し、地域企業(株)四国総合研究所、アオイ電子(株)、テクノ・サクセス(株)と連携・協力した取組「マイクロマシン技術を用いた小型光学マルチガスセンサの開発」が採択されました。(全国で 237 件応募、うち 45 件が採択。四国では本件のみ)

本取組で開発予定の製品は、香川大学がこれまでに研究してきたマイクロマシン技術を活用した、超小型で応答性がよい、従来にはない光学式センサです。本製品は、様々な現場への適用が考えられ、可燃性ガスや有毒ガスの迅速な検知により、安全性確保を一層的確に実現でき、災害の防止につながる事が期待されます。(広報室)

※詳細はこちらのページをご覧ください。

http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/topics/research/innovation/

大学体験授業～科学・技術の面白さを体験しよう～を開催しました



「小型スピーカーをつくろう」の様子

平成 22 年 7 月 28 日～30 日の 3 日間にわたり、高校生を対象に大学体験授業を実施しました。今年のテーマは「小型スピーカーをつくろう」「電子回路(FPGA)を使ってストップウォッチとルーレットを作ってみよう」など、合計 6 つのテーマを実施しました。今年は延べ 83 名の高校生が参加し、大学の実験・実習を体験しました。工学部の大学体験授業では、今後も様々なテーマを提供したいと考えていますのでご期待下さい。(広報室)

オープンセミナーを開催しました

平成22年8月6日午後、工学部において、高校教員向けのセミナーを開催しました。このセミナーの目的は、高校の先生方に必ずしもよく知られていない工学部の教育内容、資格、大学院への進学、就



垂水教授による説明の様子

職等について工学系の全分野についてまとめて説明し、進路指導の役に立てていただくことです。参加いただいた先生方からは「直接お話をうかがうことで、生徒にも説明しやすく助かります」、「文系出身で教育学部卒のため、理系については分からないことも多く、今回は勉強になりました」、「工学部では幅広く勉強することができ、理系が有利であるという意味がよく分かりました」など、好評をいただきました。今後も、高校教員向けの出前講座を提供するなど、進路指導に役立つ情報提供を行って参ります。(広報室)

第1回オープンキャンパス2010を開催しました

平成22年8月9日、今年度第1回目となる香川大学工学部オープンキャンパスを開催しました。

当日は大変厳しい暑さに見舞われましたが、工学部には大勢の高校生、保護者の方々、高校の先生方がお集まりくださり、参加者数は昨年度を上回る435名となりました。工学部の全体説明の後、各学科に分かれて説明会を行い、その後、キャンパス見学ツアーを行いました。

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。(広報室)



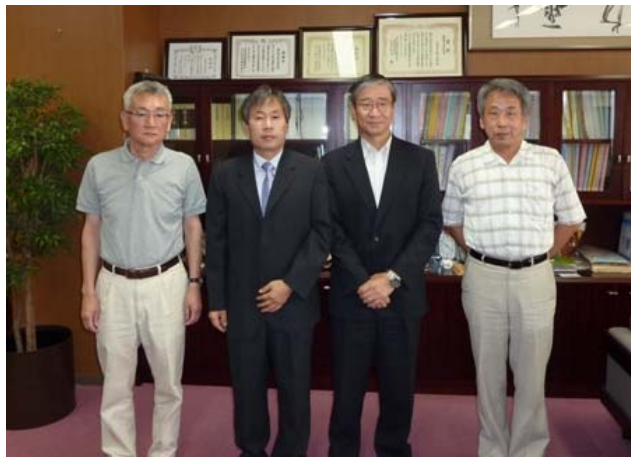
大平学部長の挨拶



信頼性情報システム工学科の紹介

ハンバット大学の Kang Jin-kyu 教授が来日されました

平成 22 年 8 月 9 日、協定校である韓国のハンバット大学の Kang Jin-kyu 教授が、1 年間のサバティカルを利用して来日されました。Kang 教授は工学部長からの客員教授の辞令交付を受け、これから工学部



部に客員教授として滞在し研究を行うこととなります。今回のような長期のサバティカル期間に協定校の教員の受け入れを行うのは工学部では初めてです。信頼性情報システム工学科の白木教授が受け入れを担当します。ハンバット大学とは非常に活発な交流が展開されており、Kang 教授にも架け橋の役割が期待されます。(広報室)

(左から 白木教授、Kang 教授、大平学部長、土居教授)

ハンバット大学との合同研究会を開催しました

ハンバット大学の学生 10 名と教職員 5 名の 15 名が、平成 22 年 9 月 28 日から 10 月 1 日まで香川大学を訪問し、9 月 29 日には、「第 1 回香川大学およびハンバット大学による材料関連合同研究会」を開催しました。特別講演が 2 件、口頭発表が 6 件、ポスター発表が 31 件あり、約 60 名の学生・教職員が参加し、活発な議論がなされました。また、翌日の 30 日には企業訪問を行い、株式会社石垣（坂出市）と大倉工業株式会社（丸亀市）を訪問しました。滞在中は、連日、学生及び教職員の交流会や懇親会も行われ、さらに親交を深めることができました。(広報室)



記念撮影



研究発表会の様子

ハルムスタッド大学 Stefan Byttner 准教授の講演会を開催

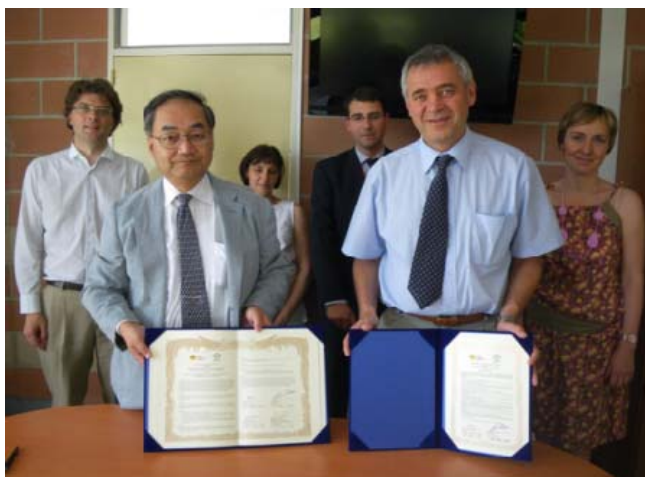
平成 22 年 9 月 10 日、スウェーデンのハルムスタッド大学の Stefan Byttner 准教授の講演会が、電子情報通信学会・四国支部主催で開催されました。Stefan Byttner 准教授は 2006 年から VOLVO 社との共同研究に係わっており、その関連のテーマである「複数の車両を使った自己組織化リモートモニタリング」についてご講演いただきました。Stefan Byttner 准教授は、工学部に外国人研究者として 3 週間滞在され、その間に、研究分野の近い教員の研究室を訪問される予定です。双方から、研究交流や学生交流を実施したいと意欲的で、これからの交流が期待できそうです。(広報室)



講演会の様子
(右が Stefan Byttner 准教授、左は工学部のバチコフ客員教授)

コンピエーネ工科大学 (UTC) との国際交流協定を締結しました

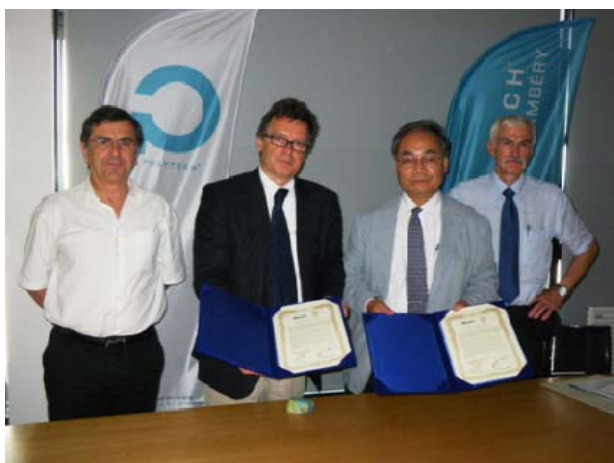
香川大学は、平成 22 年 7 月 8 日、フランスのコンピエーネ工科大学との国際交流協定を締結しました。協定書の調印式はコンピエーネ市郊外の本部学長室で、UTC のシャレロン学長と工学部秦教授により行われました。本協定の調印により、UTC と香川大学は、双方の学術交流を拡大・推進するために、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催、などを実施していきます。今後、インターンシップ学生の交流、UTC との協同プロジェクトの実施など、幅広い交流が期待されます。(広報室)



調印式の様子
(前列左から、秦教授、シャレロン学長。後列左から、エナード部門長、プレール准教授、モルゲネイヤー国際交流部長、マーリン国際交流担当)

サボア大学と e-learning 授業を共有する協定を締結しました

平成 22 年 7 月、IOREM（国際メカトロニクス研究教育機構：2009 年 1 月 30 日にフランスのサボア大学において、フランスの 3 大学と本学を含む日本の 3 大学で設立。詳細は[こちら](#)をご覧ください。）の活動の一環として、全国的にも新しい試みである、海外と日本の両方の学生が参加でき、相互に単位を認定できる e-learning 授業を共有するための、オープンレクチャー協定を締結しました。本協定の調印により、サボア大学と香川大学は、双方の学生が共通の e-learning 授業に参加し、相互に単位を認め合う事が可能になります。また、e-learning 授業であるため、国際インターンシップなどで大学を不在にしている場合も受講できます。（広報室）



調印式の様子

（左から、フルティエ教授、ブルノ副学長、工学部秦教授、ボロン教授）

国際インターンシップ交流会を開催しました

国際インターンシップは今年度で 11 年目を迎え、恒例の国際インターンシップ交流会が、平成 22 年 7 月 24 日に工学部 1 号館 11 階ラウンジで開催され、約 60 名が参加しました。国際インターンシップに関わりのある国際交流機関・団体、ホストファミリー登録をしている地域の方々、学生、教職員と多彩な顔ぶれが集い交流を深めました。今年度は、協定校であるフランスのポリテク・アヌシー・シャンベリーから 2 名、フィンランドのロバニエミ応用科学大学から 1 名が来日しています。また、工学研究科から、フィンランドへ 1 名を派遣予定しています。なお、2 年前から始まった協定校訪問事業で、9 月上旬に、フィンランドのロバニエミ応用科学大学へ 10 名の学生が訪問しました。（広報室）



記念撮影

トピックス

学術賞受賞等

6月2日 藤原宗弘(D4)(指導教員 末永慶寛)、The Best Student Poster Award(PACON2010) / 6月4日 楠瀬尚史、国際交流奨励賞 21世紀記念個人冠賞井関孝善賞((社)日本セラミック協会) / 7月9日 竹田真梨子(M2)(指導教員 堺孝司)、第32回コンクリート工学講演会年次論文奨励賞 / 7月13日 和田隆広、竹内豊計(D3)、芝裕貴(2010年修了)、Best Paper Award(The2010 IEEE/ICME) / 8月6日 秦清治、林純一郎、北條博崇(2007年修了)、林研太(2009年卒業)、Best Paper Award(The2010 IEEE/ICME) / 8月6日 渡辺洋平(M1)(指導教員 石井知彦)、第8回優秀ポスター賞(第23回DV-Xa研究会)

教員人事

10月1日 採用：信頼性情報システム工学科 准教授 丸浩一

編集：工学部広報室 電話：087-864-2000 FAX: 087-864-2032
e-mail: info@eng.kagawa-u.ac.jp <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>